

(第42号) 昭和25年1月23日

# 磐城日報

平市白鷹町十一  
發行所 磐城日報社  
電話(呼)一〇三八番  
編集發行人 後藤幸夫  
印刷人 山德平  
毎週水曜日休刊  
一ヶ月三十回  
一部一回  
購読料

## 鑛産税の問題で 総司令部に反対陳情

關係町村が湯本町で今日決議

(既報) 濱通りの關保町村になつたが、湯本町の場合に一大衝撃を與へた例の鑛を例にとると現在八百万圓に產稅の縣稅移管問題に就ては、肝油の月產百石をめざしに達する鑛山稅が同町のおに達する事になり鬼丸縣二十二日午前十時から濱三台所をまかんつており今この問題である。

郡町議會代表が湯本町役場を失う事は町財政に大いにその趣旨を陳情する事である。

## ズラリと大物迎え 最後の大舌戦

開

## 大竹派の猛運動 権は市民の恥 一人洩れなく明日は投票

平市選舉管理委員會

知事選もいよいよ大詰めと設省政務次官、吉武勞働省補選と同様五ヶ所(公會堂)にてはより一層健全なり明二十三日は三候補に政務次官の外兩院法規委員長高橋英吉、代議士高木松分校、第二小學校、第四小学校で七時から夕方六時附募集を行つた所三百冊余が民自黨平、石城支部では吉氏を迎へて増田長官らが大竹作摩えと一日數十回擴聲放送をして來たが更に今日が最後の宣傳と二十二日午後増田官房長官を迎へて湯本、植田、内郷、四倉、選舉に棄權防止のため朝七時半で街頭演説し一方鎧木運時と半後四時の二回サイレンで外国人登録一部改正による

市が棄權を防止

全部制限する見込みである

内郷町に於ける昭和二十四年十二月末現在で届出られ前は毎日市な

雨  
風  
人  
事  
内郷町の未復員者五八名△平公共安定所長佐藤二郎氏は白河所長え平の所長には白河所長の佐藤忠雄氏がそれより發令された

ある

教済事業にさえ

容易にありつけず、安定所の門

を政府に要望するもので

在日外国人の再登録が今全く一齊に十六日より三十一日までの期間で行はれているが石城郡下の舊朝鮮系の郡下解放運動会ではこの登録に對し本業を持たない我々に寫眞代の負擔は耐えられない決して日本政府に支拂いを要求するものでないが舊登録簿の寫しんと舊登録證明書の寫しんを使用して貰いたいと關係町村役場に抗議しており注目されて

水試場で小名濱町の縣水產試驗場で炭勞常磐地方協議會の結成は各地區代表二百名が出席を議題として行れ午后二時三十分閉會したが、一月以降に確立した貢金

國爭の方針に依れば中央委員の決定になる坑内夫七三〇圓坑外夫三七七圓の要求を支持する外地方團爭委員會の設置等で又

組織的でないものはどうす

ればよいだろう。團體交渉も出来ず、場合によつては役所から見放され

るこれら氣の毒な人々に

力強いが、日雇の如く組

勵者は喰えなければ貢上

げの鬭争を開始するから

に政府ではそんな事には

無頓着のように米價を

あげ、また候木炭の値を

あげてしまつた、組織勞

動者は喰えなければ貢上

